

特典⑤：学級経営SOS「注意サイン10項目」点検シート



学級が不安定になり始めるとき、必ず小さなサインがいくつも現れます。単体では「よくあること」に見えても、**複数が重なる**と学級全体のまとまりが弱まり、動きがそろいにくくなっていきます。



このシートは“悪いところ探し”ではありません。
学級の状態を客観的に点検し、早めに手を打つための道具として活用してください。

学級経営SOS：注意サイン10項目

直近のクラスの様子を思い浮かべ、当てはまるものにチェックを入れてください。

No.	診断項目	サインの捉え方	チェック
1	発言する子の固定化	意見が広がらず、場が活性化しにくい状態	
2	挙手の減少	子どもたちの「意欲」や「安心感」に変化の兆し	
3	あいさつの声の変化	声が小さくなるのは、全体の「活力低下」のサイン	
4	教室の空気感	以前と比べて「雰囲気重い」または「落ち着きがない」	
5	仲間関係の偏り	休み時間に一人でのいる時間が増えるなど、関係の固定化（高学年はある程度は...）	
6	活動の切り替え	指示を出してから次の行動に移るまでが遅くなってきた、何かと遅い（と先生が感じられることが大切）	
7	協力体制の弱まり	小さな作業（準備や片付け）でつまづくことが増える	

No.	診断項目	サインの捉え方	チェック
8	微細なトラブルの増加	軽い言い合いや小さな揉め事が頻発し始める	
9	子どもの活力低下	表情に疲れや元気のなさが目立ち始める	
10	教師自身の感覚	あなた自身が「違和感」や「疲れ」を感じる場面が増えた、この「違和感」は大切にしたいです！	

診断基準と今後のアクション



3つ以上当てはまる場合：

「一度立ち止まって状況を見直すべき段階」です。

特に、**子どものサイン**と**教師自身のサイン**が同時に現れている場合は、早めの調整が効果的です。



このシートの価値

チェックリストに照らしてみることで、学級の変化を「言葉でつかむ」ことができます。

そうすると、

- どこに焦点を当てるべきか
- 何から整えるか

が見えやすくなり、次の一手を落ち着いて選ぶことができます。

学級が大きく乱れる前に小さなサインへ気づくことが、最も確実な予防になります。



特典プラス：生成AI（ChatGPT）活用術

チェックがついた項目をAIに入力し、具体的な「改善策」を提案してもらうことができます。

▼ 入力プロンプト例

「学級経営チェックリストの結果、『発言者の固定化』『挙手の減少』『切り替えの遅れ』の3つにチェックがつけました。私の学級目標のキーワードは『挑戦』

です。明日の朝の会で、子どもたちの意識をもう一度前向きに切り替えるための、3分間の語り案を作成してください。威圧感を与えず、子どもが『やってみよう』と思えるトーンをお願いします。」